

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2013年 2月25日(月)

地域企業紹介 No. 23

株式会社コンテックス

チャンスは外からしか やってこない!

南区上鶴間本町に株式会社コンテックスの近藤千奈美社長を訪問した。同社は、1983年に父である近藤藤一氏が産業機器開発の設計・調査・実験・分析業務を行うために創業し、近藤社長が跡を継いで9年。会社設立から30周年を迎えた今、従来の業務を基盤に顧客からのニーズをもとにした「翻訳・通訳部門」で新しい展開を進めている。

同社の創業当時に近藤社長は音大でピアノを学んでいたが、「これからは英語の時代だ」という思いが強く留学資金を貯めるためにアルバイトを始めようと考え、日本IBMへアルバイトを希望する書類を送った。返信が無い中で諦めない近藤社長は、人事部に連絡を入れ求人募集がなかったことを知ったものの、面接を依頼した。実現した面接では、「何がしたいのか」と聞かれ、「英語とコンピューターを学ぶためにアメリカへ留学したいのでアルバイトでお金を貯めたい。」と訴えたところ採用され、自身が計画していた通り1年後にアメリカ行きの切符を手にした。

アメリカでは、大学で2年間人類学を勉強し卒業したが、日本に戻りたくなかった近藤社長は、知人の紹介でニューヨークへ引っ越し、日本の文化を紹介する団体Japan Societyで就職が決まった。入社初日は団体が主催する大きな展示会開催の1週間前であったために、「仕事を教えている時間はない。」と言われ、誰も教えてくれない職場環境の中で自分で仕事を見つける日々が続き、入社してからの1～2週間は半年分にも思えるぐらいの仕事量であったと言う。

仕事としては、大きな展示会で日本の重要文化財を展示する時にアメリカの専門家と日本の専門家との通訳や所属部長のアシスタント業務などがあり、明日解雇されるかもしれないという緊張感の中で、アメリカ社会での仕事は毎日が全力投球の連続であった。その結果、上司から認められ仕事を続けることが出来て、ビザも取得した。

(2面につづく)



株式会社コンテックス

代表取締役 近藤千奈美

所在地：相模原市南区上鶴間本町4-9-7庄井ビル2F

従業員数：18名 資本金：1千2百万円

売上高：1億4千7百万円（平成23年度実績）

事業内容：

○産業機器の開発に関する実験手法・装置の立案、設計、製作 ○産業機器の技術開発に関する調査、実験、分析 ○汚水処理の技術開発に関する調査、研究、実験、分析 ○プログラム開発、技術提供及び保守 ○産業翻訳及び通訳 ○技術者派遣事業

アメリカでの社会人生活が落ち着いてきた中、「自分はどこで働くのか、自分のやりたいことは何か?」と自問し日本の両親の事を考えるようになった。一時帰国の時、事業を継ぐことを前提にコンテックスに入社したいと父親に申し出たところ、父であり前社長である近藤藤一氏は、「やってみればいい、ダメだったら次の人生を探せばいい」と言ってくれた。5年間過ごしたアメリカから1993年に帰国、株式会社コンテックスへ入社した。プログラミング、さらに人事総務関係の仕事覚える中で、アメリカで働いていた時は団体事業での一業務を担当しているに過ぎず、日本に帰国して初めて“会社”と言う組織を実感をもって理解した。

ある時、アメリカの企業と共同研究をしているお客様から、英語が出来ないためにコミュニケーションがうまく取れないと相談された。ファックス文章の翻訳や通訳の手伝いをする内に、英語マニュアルの翻訳依頼が持ち込まれるようになり専門用語が

理解できるようになった。これが現在の新規事業部門である「翻訳・通訳部門」を立ち上げる契機である。

「お客様が困っていることに自社のリソースを使って対応を考えること、それによって商売のチャンスは広がる。チャンスは外からしかやって来こない!自分が知らない困り事はチャンスに繋がる。」を実感し、お客様が求めている事が何か解るようになってきた。

海外進出を視野に入れる中小企業にとって、外国語と言う言葉の壁は小さくない。そのような中小企業のお役に立ちたいと、専門用語に精通した同社は、海外進出を目指す企業の為のスターターパック(外国語PRパンフレット作成、外国語メール問い合わせ対応など)の発売を昨年開始した。

事業を継承して9年目、「お客様に喜んでもらえた時が何よりも嬉しい。」と話す近藤社長は、更なるサービスを模索している。

一貫工程の“ものづくり”で応える 日本サポートシステム株式会社

日本サポートシステム株式会社(代表取締役会長 井田充夫氏)は、生産工場のライン用治工具から生産システムや検査機器まで、広範囲な機器の設計から製作まで一貫工程の“ものづくり”で、お客様のニーズに応えている。

1960年代の東海大学工学部電気工学科時代、電気工学研究部に所属し、お化けのように大きなバッテリーを使って直流で動く電気自動車を作っていたという井田会長。合宿しながら、部員全員が目標に向かい一体となって電気自動車を作ったことが人生のよい糧となったと言う。卒業後、電話や無線機の大手企業を経て、検査治具の会社へ入社し、そこで初めて治具業界を知る。若い時から起業する事を何となく意識し、ボーナスには手を付けずに貯金していた。1990年、茨城県で友人と二人で検査治具の会社を設立し、昨年1月、SIC-3に相模原事業所を新設した。

確かなメカトロ技術と電子技術(ハード・ソフト)をベースにし、特にフレキシブル基板や事務機器メーカーのファンクションテスター治具を得意分野としている。装置部門では、生産装置を始め、半導体装置・理化学機器等のノウハウを生かした自動生産システムを開発。検査機部門では、ペアボードの導通試験、実装後の実装確認試験・機能試験等の検査システムを開



発している。また、部品1つから組立用治工具等に至るまで、多岐にわたる製品に対応している。

同社の強みは、顧客の悩みに応えることが出来る事。便利屋のように見えるかもしれないが、技術の裏打ちがあればこそである。また、中国の珠海(じゅはい)に工場があるが、移り行く大手グローバル企業のニーズに対応できるのは、やはり日本人の技術。創業から23年、メカトロ、電子、ソフ

トの組み合わせに応えられる自社製品、新しいビジネスモデルを考えている。そして、事業を通して、社員のそして自分自身の質を高めて行きたいと井田会長は話す。



日本サポートシステム株式会社
相模原事業所 SIC-3 317
TEL.042-786-1552 FAX.042-786-1553
URL: <http://www.jssl.jp/>

高専力で地域企業をサポート

学校法人育英学院
サレジオ工業高等専門学校

サレジオ高専は、平成17年(2005年)に杉並区から町田市小山ヶ丘に移転して8年、地域に溶け込み・地域企業との連携を志向する近況を、平岡副校長からお聞きしました。

【サレジオ高専の特徴】

サレジオ高専には、「電気工学科」、「機械電子工学科」、「情報工学科」、そして高専では日本で唯一の「デザイン学科」が設置されています。

普通高校に比べて授業時間が年間当たり 100 時間程多く、特に 4・5 年次では、企業での即戦力となるための専門科目の割合が増えます。就職の他に専攻科進学や大学の 3 年次へ編入する進学者もいます。

校内では正規の授業の他に、学科・学年の枠を越えた「プロジェクト活動」として、高専ロボコン、高専デザコン、高専プロコン、ソーラーカーなどが盛んに行われています。代表的なのは「NHK 全国高専ロボコン」。電気科・機械電子科・情報科の 3 学科の学生が、学科ごとの専門性を駆使・連携させながら、ロボットの製作・改良、制御プログラムの作成などに取り組み、学生の成長の大きな糧となっています。2007 年にはユーモア溢れる騎馬ロボットで全国最高栄誉であるロボコン大賞を獲得しました。今年度はサソリ型ロボットが本物そっくりな動きで会場を沸かせました。



【地域企業等との連携】

<フリーペーパー「アレサ」の制作・発行>

2008 年より、町田商工会議所の協力の下、地元の商店会「アレサ商栄会」との地域連携として、デザイン学科の卒業研究としてガイドブック「アレサ」のデザイン制作を行っています。昨年から企画立案も手掛け学生の視点からの情報も掲載しています。今月第 6 号が発行されています。

<「潤水都市さがみはら」のロゴデザイン>

政令指定都市となった相模原市のセールスコピー「潤水都市さがみはら」のロゴは、相模原の魅力を内外に発信する一役を担う中、公募で集まった 261 作品から、デザイン学科の学生の作品が選ばれました。

その他、デザイン学科では、若い発想力・感性を求める企業と共同研究を行っています。学生の卒業研究として対応していくために、共同研究のテーマは 3 月中にご相談下さい。



【卒業生の求職情報】

これまでの求人倍率は約 15 倍以上と高水準で、製造業・情報通信業を中心に職種は製造・設計や開発部門が多いそうで、「地元での就職意向を持つ学生も多く、地元企業さんからの求人をお願いしたい。」と平岡先生は話します。同校は、現在 5 学年で 790 名が在籍し、その内約 17 パーセントが相模原市内から通学しています。

現在、平成 25 年度新卒者(26 年 4 月入社)採用希望の企業の求人票の受付をしていますので、関心のある企業の方は、早めに下記までご連絡ください。なお、24 年度新卒者(25 年 4 月入社)で就職先が未定の学生も若干名いるために、相談可能とのこと。また、企業等による学校視察も積極的に受け入れたい意向です。

◇求人票の送付先・問い合わせ先◇

サレジオ工業高等専門学校 キャリアセンター
〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘 4-6-8
TEL. 042-775-3020 (代表) FAX. 042-775-3036
E-mail. salesio-career@salesio-sp.ac.jp
URL : <http://www.salesio-sp.ac.jp/>

相模田名民家資料館

田名は、江戸時代中頃から昭和初期まで大山参詣の宿場町として大山街道の重要な拠点でした。当時農家の 90 パーセントが養蚕に携わっていたことから、後世に伝えんとし当時の代表的な養蚕農家を移築再現したものが今回訪ねた「相模田名民家資料館」です。

「いにしえのんびとの暮らし いにしえのんびとの智恵 いま、ここに甦り いつまでも伝えたい。」資料館パンフレットより
2月1日から3月3日までの期間、江戸・明治・大正・昭和の雛人形が1階の4つの広間というりのある部屋(計59畳)に、ところ狭しと展示されています。

相模原市中央区田名4856-2
会館日：木・金・土・日の週4日間 10:00~16:00



26対の雛人形が一堂に会い見事です!



掛け軸のお雛様
(古来の内裏雛の位置が分かります。)



江戸時代の雛人形



昭和30年代の御殿雛

とっともとっとも ちいさな旅

創蓄省

創・蓄・省エネ成果発表会
かながわエネルギー関連ベンチャー

かながわエネルギー関連ベンチャー 創・蓄・省エネ 成果発表会

日 時:平成25年3月5日(火)9:30~12:30
場 所: 神奈川産業振興センター
定 員: 90名(参加無料)
内 容: 明日を担うかながわエネルギーベンチャープロジェクト
及びネットワーク会員のプロジェクト活動成果発表

同日開催

次世代を担うかながわベンチャー 成果発表会・ビジネスマッチング

神奈川県では、成長が見込めるライフサイエンスや環境関連等の
新産業分野において、事業化を目指す有望なプロジェクトや研究
シーズを支援しています。平成24年度に支援したプロジェクトや研
究の成果発表会を開催します。

日 時:平成25年3月5日(火)13:00~18:40(参加費無料)

SIC カイゼン研究会

日 時:平成25年3月16日(土)~
7月20日(土)全10回
場 所: SIC大会議室 または サン・エールさがみはら会議室
内 容:ものづくり企業の収益率向上を目指すとともに、新たな
付加価値の高い製品を開発するための基礎作りを目指します。
講 師:株式会社カイゼン・マイスター
代表取締役 小森 治氏をはじめとする7名の講師陣
*詳しくは、SICホームページ
<http://www.sic-sagamihara.jp> をご覧ください。



3月

SICイベントカレンダー

2013年3月~

- 2013年2月27日(水)~3月1日(金)国際水素燃料電池展2013
- 3月5日(火)かながわエネルギー関連ベンチャー及びかながわ
環境関連産業ネットワーク 創・蓄・省エネ 成果発表会
- 3月13日(水)第8回 見にミニセミナー・経営総合相談会
- 3月13日(水)~18日(月)町田工業高校インターンシップ受け入れ
- 3月16日(土)~7月20日(土)SICカイゼン研究会
- 3月28日(木)南西フォーラム分科会 第3回宇宙科学研究会



入居企業を募集しています。

SIC 空室情報 (2月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(資料:共益費込み)

	部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-1	スモールオフィスB	17.3㎡	2 61,320円
SIC-2	現在、空き室はありません		
SIC-3	現在、空き室はありません		

南西フォーラム分科会

3rd 3月28日(木)

モノづくり企業のための
宇宙科学研究会
Society for the study of Space Science

モノづくり企業のための宇宙科学研究会

日 時:平成25年3月28日(木)18:00~
場 所:相模原市立産業会館(3階 大研修室)
定 員:50名 入場無料
テーマ:高精度大型宇宙構造システムにおける質の保障と向上について
講 師:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授 石村 康生氏
*詳しくは、南西フォーラムホームページ <http://nansei-forum.jp> をご覧ください。

第8回 **The HINT**
【見にミニセミナー】
「なぜ、あのお客さんは振り向いてくれないのか?」

第8回 TheHINT 見にミニセミナー

日 時:平成25年3月13日(水)13:00~
場 所:さがみはら産業創造センター会議室
定 員:20社程度(申し込み順) 入場無料
テーマ:なぜ、あのお客さんは振り向いてくれないのか?
—売れる仕組みを探し出す!—
講 師:SICアドバイザー 林 亮宏 氏

AWARD Japan Venture Awards2013
技術イノベート特別賞を受賞!

2月20日(水)に開催されたJapan Venture Awards2013の最
終選考会で、SIC-3に入居されている株式会社コンタクトの代
表取締役 田島敏行様がJVA 審査委員会特別賞(技術イノベート特
別賞)を受賞されました。おめでとうございます!

【訂正とお詫び】
2012年12月20日に発行致しました「SICかわらばんNo.22」号におきまし
て、記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。○株式会社フー
ドケア様ご紹介商品 2ページ目向かって右側商品名(誤)「スベラカーゼ」
(正)「スベラカーゼ」 関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫び
するとともに、ここに訂正させていただきます。

編
集
後
記

ちい旅では、相模原市や近隣で“日常の雑多な事”が一瞬でも
忘れられたり、歩きながら冷静に物事を考えてみたり、古き
良き時代に思いを馳せてみたりとそれぞれの時間を持って
いただけたらと思ひながら、ご紹介しています。今回は、TV
や写真で見たことはあるけれど、実際見たことがない空間で
した。次号の第24号発行は4月20日を予定しています。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。